

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-504343(P2008-504343A)

【公表日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2007-518585(P2007-518585)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

C 0 7 D 309/34 (2006.01)

C 0 7 D 239/26 (2006.01)

C 0 7 D 405/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/49

C 0 9 K 3/00 1 0 4 B

C 0 9 K 3/00 1 0 4 Z

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 K 8/891

A 6 1 Q 19/08

C 0 7 D 309/34

C 0 7 D 239/26

C 0 7 D 405/06

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

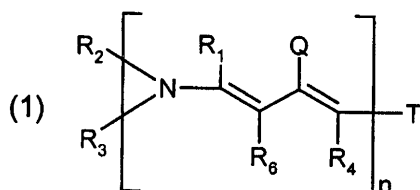
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紫外線の悪影響に対して、ヒトの毛髪及び肌を保護するための、式

【化 1】



[ 式中、

Q は、水素原子；炭素原子数 1 ないし 2 のアルキル基；-OH；-OR<sub>7</sub>；-NR<sub>7</sub>R<sub>8</sub>；又は -N=R<sub>9</sub>を表わし；

$R_1$ は、水素原子；炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基； $-OR_7$ 、 $-SR_7$ ； $-NR_7R_8$ ；炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルケニル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルキニル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基；炭素原子数 7 ないし 12 のアラルキル基；炭素原子数 1 ないし 12 のヘテロアルキル基；炭素原子数 2 ないし 11 のヘテロアラルキル基；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；又は炭素原子数 1 ないし 9 のヘテロアリール基を表わし；

$R_4$ は、シアノ基； $COR_7$ ； $COOR_7$ ； $CONR_7R_8$ ； $SO_2$ （炭素原子数 6 ないし 12 の）アリール基；炭素原子数 1 ないし 12 のアルケ - 1 - エニル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケ - 1 - エニル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルキ - 1 - イニル基；炭素原子数 2 ないし 12 のヘテロアルキル基；炭素原子数 3 ないし 5 のヘテロシクロアルキル基；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；又は炭素原子数 1 ないし 9 のヘテロアリール基を表わし；

$R_5$ は、 $-COR_7$ ； $-COOR_7$ ； $-OR_7$ ； $-SR_7$ 、 $-NHR_7$ 、 $-NR_7R_8$ ；炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルケニル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルキニル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基；炭素原子数 7 ないし 12 のアラルキル基；炭素原子数 1 ないし 12 のアルキルフェニル基；炭素原子数 1 ないし 12 のアルコキシ - 炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；炭素原子数 1 ないし 12 のヘテロアルキル基；炭素原子数 2 ないし 11 のヘテロアラルキル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロヘテロアルキル基；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；炭素原子数 1 ないし 12 のアルコキシ - 炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；又は炭素原子数 1 ないし 9 のヘテロアリール基を表わし；

$R_6$ は、水素原子；炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基；炭素原子数 1 ないし 22 のアルコキシ基；又は $COR_7$ を表わし；

$R_7$ 及び $R_8$ は、互いに独立して、水素原子；炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルケニル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルキニル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基； $-(CH_2)_tCOOH$ ；炭素原子数 7 ないし 12 のアラルキル基；炭素原子数 1 ないし 12 のヘテロアルキル基；炭素原子数 2 ないし 11 のヘテロアラルキル基；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；炭素原子数 1 ないし 9 のヘテロアリール基； $Si-R_{10}R_{11}R_{12}$ ； $Si(OR_{10})(OR_{11})(OR_{12})$ ； $SiR_{10}(OR_{11})(OR_{12})$ ； $SiR_{10}R_{11}(OR_{12})$ ； $-(CH_2)_u-O-(CH_2)_v-SiR_{10}R_{11}R_{12}$ ；又は基 $X-Sil$ を表わし；

$t$ 、 $u$ 及び $v$ は、互いに独立して、1 ないし 5 の数を表わし；

$R_9$ は、（炭素原子数 1 ないし 6 の）アルキリデン基を表わし；

$R_{10}$ 、 $R_{11}$ 及び $R_{12}$ は、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基を表わし；

$X$ は、結合を表わし；

$Sil$ は、シラン - 、オリゴシロキサン - 又はポリシロキサン基を表わし；

$R_1$ 及び $R_2$ 、 $R_1$ 及び $Q$ 、 $R_1$ 及び $R_6$ 、 $R_1$ 及び $T$ 、 $R_2$ 及び $R_3$ 、 $R_2$ 及び $R_4$ 、 $R_2$ 及び $R_6$ 、 $R_2$ 及び $Q$ 、 $R_4$ 及び $R_6$ 、 $R_4$ 及び $T$ 、 $R_6$ 及び $Q$ 、 $T$ 及び $Q$ は、互いに独立して、一緒に結合して、1、2、3又は4つの、炭素環又は $N$ 、 $O$ 及び $/$ 又は $S$  - 複素環を形成し、ここで、それらの各々は、互いに独立して、1つの芳香族環又は複素芳香族環、及び $/$ 又はそれ以上の $N$  - 、 $O$  - 及び $/$ 又は $S$  - 複素環と縮合し得り、そして $N$  - 複素環の各 $N$ 原子は、炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基で置換され得り；

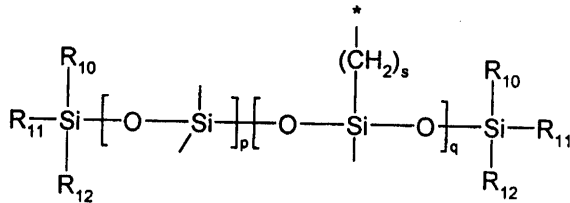
$n$ は、1 ないし 4 の数を表わし；ここで、基 $R_1$ 、 $R_6$ 又は $Q$ の少なくとも1つは、水素原子とは異なり；

$n = 1$ の場合、

$T$ は、 $-COR_5$ ； $-CN$ ；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基； $-NHR_5$ ；又は $-SO_2$  - （炭素原子数 6 ないし 12 の）アリール基を表わし；

$R_2$  及び  $R_3$  は、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基；ヒドロキシ - 炭素原子数 1 ないし 22 のアルキル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルケニル基；炭素原子数 2 ないし 12 のアルキニル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基；炭素原子数 7 ないし 12 のアラルキル基；炭素原子数 1 ないし 12 のヘテロアルキル基；炭素原子数 3 ないし 12 のシクロヘテロアルキル基；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基；炭素原子数 1 ないし 9 のヘテロアリール基；又は式

【化 2】



で表わされる基を表わし；

$p$  は、5 ないし 100 の数を表わし；

$q$  は、1 ないし 5 の数を表わし；

$s$  は、0 ないし 4 の数を表わし；

$n = 2$  の場合、

$R_2$  及び  $R_3$  は、互いに、炭素原子数 1 ないし 5 のアルキレン基を表わし；かつ同時に、 $T$  は、 $n = 1$  の場合と同様に定義されるか；又は、

$T$  は、式  $-NR_7-V-NR_7-$  (式中、 $V$  は、フェニレン基；又は炭素原子数 1 ないし 5 のアルキレン基を表わし； $R_7$  は、水素原子；又は炭素原子数 1 ないし 5 のアルキル基を表わす。) で表わされる 2 価の基を表わし；かつ同時に、 $R_2$  及び  $R_3$  は、 $n = 1$  の場合と同様に定義され；

$n = 3$  の場合、

$R_2$ 、 $R_3$  又は  $T$  の 1 つは、3 価の基を表わし；

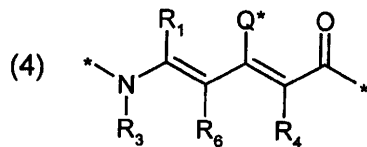
$n = 4$  の場合、

$R_2$ 、 $R_3$  又は  $T$  の 1 つは、4 価の基を表わす。】で表わされる化合物の使用。

【請求項 2】

式

【化 3】



(式中、アスタリスク付きの基の少なくとも 1 つは、モノマー状又はポリマー状の基と結合され；

$R_1$ 、 $R_2$ 、 $R_4$  及び  $R_6$  は、請求項 1 で定義した通りである。) で表わされる構造成分を有するモノマー状及びポリマー状化合物。

【請求項 3】

シワ取り知覚改善剤 (anti-wrinkle perception modifier) としての、請求項 1 に記載の式 (1) で表わされる化合物の使用。

【請求項 4】

化粧品的に許容可能なキャリアー又は補助剤と共に、請求項 1 に記載の式 (1) で表わされる化合物を少なくとも 1 種含む化粧品。

【請求項 5】

(a) 各々 0.02 ないし 2  $\mu\text{m}$  の粒子サイズを有する、微粉末化された少なくとも 1 種

の請求項 1 に記載の式 ( 1 ) で表わされる紫外線吸収剤、及び  
( b ) 適当な分散剤  
を含む、紫外線吸収剤分散体。